

「環境技術」査読付論文投稿規定

(2024年5月改定)

1. 「環境技術」への投稿論文の採用について

環境問題は、多くの場合、従来の学問体系の境界領域に課題が生まれ、対象分野が多岐にわたります。

また、近年、「環境」をキーワードとする研究課題への多様な取り組みがなされ、その成果・情報の共有がますます必要となって参りました。本誌は、これらの点を踏まえ、はば広い研究発表の場を提供する目的で、[研究論文][技術論文][研究ノート][報告]の査読論文枠を設けています。

「環境技術」では、査読委員会の基準のもとに、投稿された論文を迅速に評価しできるかぎり早く掲載したいと考えます。論文は、未発表で環境科学に関する基礎的研究の他に、環境技術の今日の進歩に寄与する新しい内容であることとします。

2. 投稿資格

責任著者が環境技術学会の会員（名誉会員を除く）であること。

※責任著者は、投稿、査読、制作のプロセスにおいて原稿に対して責任を負う。投稿から出版までのすべての連絡は責任著者との間で行われる。責任著者は、筆頭著者である必要はない。

3. 論文の内容

論文種類	内容	基本ページ(本誌面)	査読者
研究論文	独創的で完成度が高い研究内容を含む論文	7ページ	2名*
技術論文	開発技術や実験手法、調査手法、分析手法等において、技術面での新規性ないしは完成度が高い内容を含む論文	7ページ	2名*
研究ノート	断片的であるが論文に近い新規性がある内容を含む短報・速報	5ページ	2名*
報告	実際的な実験や開発技術、調査、分析等の成果報告（有用なデータや情報を含む）	6ページ	1名

※査読者2名の意見が分かれた場合は、第三査読を行う。

4. 投稿方法

(1)提出書類をPDFファイルにしてメールに添付し、「環境技術」編集室に送信する。メールの件名に「査読論文の投稿」と記載する。PDFファイルにはセキュリティをかけない。

(2)PDFファイル名は、それぞれ次の内容_氏名を記してファイル名とする。①投稿申込書、②原稿表紙、③本文、④図表写真、⑤ sadoku_senmonka_list

これらの書式（テンプレート）は、学会ホームページ（<https://www.jriet.net>）からダウンロードできる。

※「MENU」→「論文作成テンプレート」→「査読付論文」→「査読付論文投稿用書式ダウンロード」

(3)送信後1週間以内に編集室から返信メールがないときは必ずご連絡ください。

(4)論文の本文は原則和文で執筆のこと。

5. 原稿作成にあたって

論文種類	和文要旨	和文 キーワード	英文要旨 (和文要旨の英訳)	英文 キーワード
研究論文	400字以内	5つ以内	150語程度	和文キーワードの 英訳であること
技術論文	同上		同上	
研究ノート	200字以内		100語程度	
報告	200字以内		不要	

※投稿時に規定ページを超える場合は、編集室へ連絡すること。

- (1)要旨：目的，方法，結果，応用面について「キーワード」を必ず織り込んで記述する。
 (2)本文：2段組で24字×43行。必ずページ番号を振る。
 (3)図表・写真：本文とは別の用紙に作成。図表の通し番号，キャプションは本文指示と対応させること。

6. 提出前の確認項目

<input type="checkbox"/> 共著者による原稿確認	<input type="checkbox"/> 必要な転載許可	<input type="checkbox"/> 文献書式
<input type="checkbox"/> 誤字・脱字・番号等	<input type="checkbox"/> 規定ページ数	<input type="checkbox"/> 上記5.の各項目

※図表を引用する場合は，事前に転載許可をとること。

7. 論文（本文）の組立て

- (1)緒言（はじめに）：論文内容のその分野における位置づけを述べる。したがって当研究が従来の研究とどのような関係にあるか，どういう点で新しいのかななどを明確に述べる。
 (2)研究の方法：試験や調査の方法を「2.1, 2.2…」と項目をたて，具体的に述べる。
 (3)結果および考察：得られた結果とそれに対する考察を「3.1, 3.2…」と項目をたて述べる。
 ※数式の誘導はなるべく簡単にし，結果を示す数式にはその解釈を付記する。
 (4)結語（結論，まとめ）：得られた主要な結論その他を明確に述べる。
 (5)参考文献：その研究の展開に直接利用された文献は，論文の末尾に記す（書き方の詳細は「執筆要領」参照）。

8. 専門家の推薦

投稿者は，査読論文の投稿にあたって査読が可能な「専門家一覧」を表にして提出することができる。この場合には，以下の要件を満たすこと。

- (1)研究論文，技術論文，研究ノートについては3名以上，報告については2名以上の専門家を挙げる。
 （推薦される専門家同士は，同じ研究組織に属していないこと（例えば，同じ研究室の教授と准教授等））
 (2)投稿者（全ての共著者含む）と過去5年間に共同研究，論文や著作の共同発表等の実績がないこと。
 (3)和文論文の査読（研究論文，技術論文，研究ノートの場合は英文要旨も含む）ができること。
 (4)推薦にあたっては，「sadoku_senmonka_list (Excel)」のテンプレートを利用する。

9. 論文の採否

論文の採否については，査読者の意見を尊重するが，受理については編集委員会が決定するものとする。

10. 査読および補筆期間の目安

研究論文・技術論文・報告	研究ノート
査読期間…第1回査読30日 第2回査読15日	査読期間…第1回査読20日 第2回査読10日
補筆期間…20日	補筆期間…20日

11. 論文の著作権

著作権（著作権法第27条及び第28条を含む）は，本会に帰属する。投稿者は，著作権委譲書を提出しなければならない。本学会は，複製権（PDF），公衆送信権（WEB公開）の使用権も有する。

12. 掲載料（別刷り50部を含む）

44,000円（消費税は外税。規定ページを超える場合は編集室に問い合わせること）